

令和2年4月
発行：依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL：0268-68-0281
FAX：0268-68-0283

リハビリに特化した通所サービスの提供

リハビリテーションにより特化した通所サービスを提供するため、平成29年4月に名称を「いこい通所リハビリテーションセンター」と改称してから4年目を迎えました。今回は、特徴的な取り組みをいくつかご紹介いたします。

1 専任の理学療法士が3人、入所と兼任の作業療法士・理学療法士が5人と、リハビリスタッフがそろっており、ご利用者と一対一でリハビリを実施しています。



体の柔軟性や支持性を高める【レッドコード】を使用したグループトレーニング

2 リハビリ職員は、単にリハビリを提供するのではなく、ご利用者の身体の状態や生活動作ひとつひとつを見ながら環境調整や福祉用具の選定などを行い、日常生活での自立を目指し、ご自宅での生活が安心して過ごせるよう、一人ひとりに応じた個別リハビリを提供しております。

3 認知機能に良い影響を与えるとされる、運動しながら脳のトレーニングを同時に行うことができる機器や、筋力トレーニング、体の柔軟性や支持性を高めるトレーニングが行える機器など、設備も充実しています。

4 看護師や介護員も、トイレや入浴、食事などの日常生活における動作そのものをリハビリと捉えた「生活リハビリ」を提供しています。

5 身体機能の維持・向上だけでなく、折り紙や貼り絵での作品制作といった作業活動、ご自宅でできる運動を紹介するホームエクササイズなどのクラブ活動の充実にも力を入れており、皆さんが活き活

きと楽しく活動に参加されています。

6 医師・看護師による健康管理や管理栄養士による栄養管理、摂食・嚥下に関する指導など、専門職が勤務しているため、いろいろなご相談に応じております。キャッチフレーズは「元気で長生き」です。元気で在宅生活を送るため、いこい通所リハビリテーションセンターで効果的にリハビリを受けてみませんか。各曜日共にまだ余裕があります。大勢の皆様のご利用をお待ちしております。



運動しながら脳のトレーニングを同時に行うことができる【コグニバイク】を使ったりリハビリ

令和2年度の予算は、5億2千840万円になりました。
3月24日、依田窪医療福祉事務組合議会3月定例会が開かれました。
老健いこいの関係では、食費等の変更に伴う条例改正や、令和2年度特別会計予算案、令和元年度補正予算案が審議され可決されました。
令和2年度予算は、給食業務の業者委託に伴う歳出の増を見込み、対前年度6.6%、3千290円の増額予算となりました。

令和2年度予算概要

単位(万円)	
歳入総額	52,840
施設サービス料収益	21,487
居宅サービス料収益	16,262
食費・居住費収益	6,184
市町分担金	6,252
その他	2,655
歳出総額	52,840
給与費	33,548
材料費	3,353
経費	5,686
委託金	3,853
償還金	6,252
その他	148

※表示単位未満を四捨五入しています。

■ 通所リハビリテーションセンター サービス提供時間を6時間以上7時間未満に変更
4月より、通所リハビリテーションセンターの主たるサービス提供時間を、7時間以上8時間未満から、6時間以上7時間未満に変更いたしました。

■ 食費と居住費の変更

4月より、食費は、給食業務の業者委託に伴う変更、居住費は、国の基準費用額の変更に伴い、次のとおり金額を変更します。食費につきましては、大幅な値上がりとなりご負担をお掛けしますが、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

区分	変更後	変更前
食費(単位：円)		
入所	1,600	1,380
短期入所(朝食)	480	420
短期入所(昼食)	580	500
短期入所(夕食)	540	460
通所リハビリ	700	650
居住費(単位：円)		
個室	1,668	1,640
多床室	377	370